

一字もじもり ゆわひ ゆづりは 木戸 大祝 小祝 かしま

上林竹庵ひかへのゑん

一あやのもり びわ 若もり はやら きちもり

末の二色は當代出來茶也 上江上ル御茶也

法順ひかへのゑん

一内うもじ 外うもじ うろこがた

〔茶譜一〕一茶ノ袋ニ極上ト書コト、無上ニ究ルト云ヲ以ノコト也、

一初昔後昔ト云コト、古ハ島ノ名ヲ則茶ノ名トス、依之森ト云、島ノ園ハ森ト云、宇文字ト云、今ハ其島ノ名ヲ吾々ノ名字ニ付故、茶ノ名ニ唱ガタシ、依之家々ノ名園、上々ノ茶ヲ初後ト云、然バ初後ノ文字ニハ不可限處ニ、何レモ家々ニテ初昔後昔ト書ハ如何、答曰、其家々ノ上々ノ園ノ一番ニ摘、最初ニ仕立ルヲ初ト云、翌日摘テ翌日仕立ルヲ後ト云、依之入日記并茶袋ニ、三月幾日摘初昔ト書、翌日摘テ後昔ト書、其外ノ茶ハ摘ノ日付モ不書、尤家々ニテ名ヲ種々ニ付ル、

一初後トバカリ可書ヲ、昔ト云文字ヲ書コト如何、古ハ蒸茶ニ仕立ル、中奥ハユデ茶ニシテ仕立シ、然ヲ其以後ユデ茶ハ青香有テ、色モ青黒惡ト云テ、又古ノ蒸茶ニ仕立ル故、古ノ仕立ナリト云ヲ以、昔ト云文字ヲ書加、

一白ト云コト如何、中奥ユデ茶ノ時ハ、色青黒シ、蒸茶ハ青白シ、其白ハハナヤカニウルハシ、依之青イ中ニ白青ヲ第一ニ好ムコト也、故白茶ト云心ヲ以、白ト云字ヲ書入ル、

一別儀ト云茶ハ如何、或書物ニ曰、昔珠光所持ノ葉茶壺ニ松花ト云有、此壺茶ヲ持過、煎色味トモニ惡ク成、珠光宇治ヘ云付テ蒸ヲヒカヘサセシト也、其砌此仕立常ニ替リ、別ニ仕立ルト云ヲ以、茶師ノ云初シト有、然ドモ茶ノ味強シテ次成ユヘ、今ハ仕立様ハ極ト同事ナレドモ、味ノ次成ヲ